

また、資本政策面においても、NTT データは2025年7月にシンガポール証券取引所へデータセンター特化型REIT [NTT DC REIT] を上場。同REITは米国・オーストラリア・シンガポールに所在する6つのデータセンター(総電力容量:約90MW)で構成される。上場により、一部の施設を投資家にも保有してもらいつつ、得た資金を新規データセンター建設に振り向けることが容易となった。

こうしたNTTデータの取り組みは、NTTグループ全体

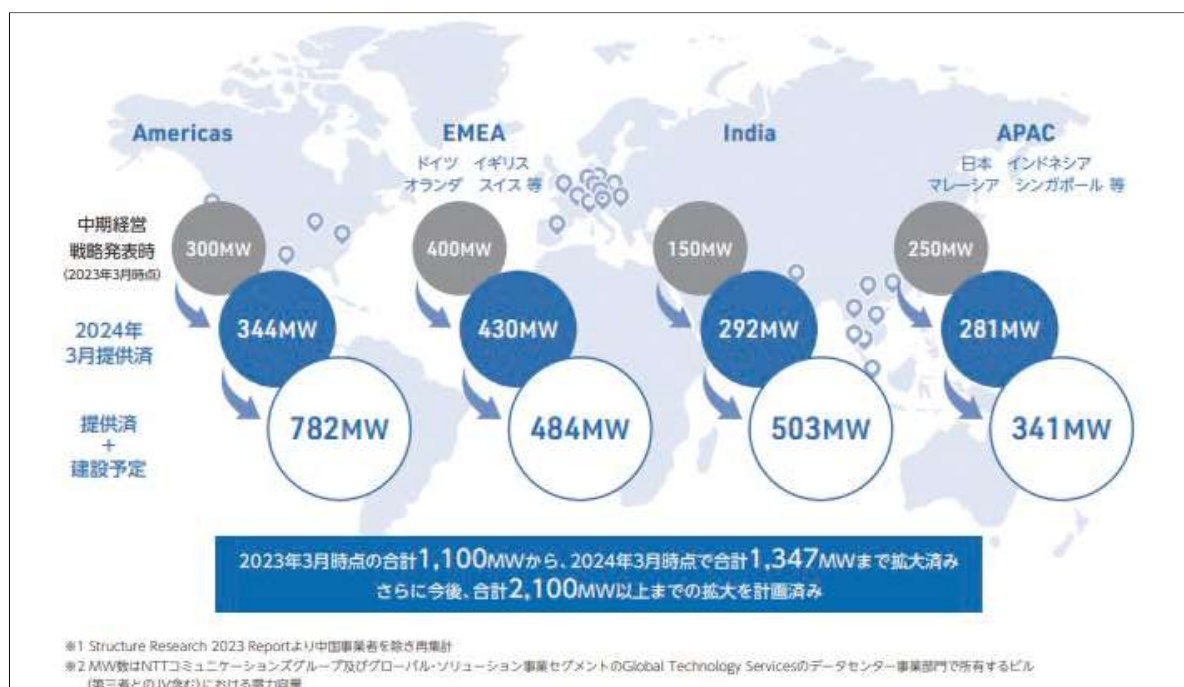
のデータセンター投資計画を後押しするものとなっている。新規データセンターのコロケーション需要は主にAI需要に支えられ、2029年までには年平均成長率(CAGR)41%で拡大すると予想されている。これを受け、NTTグループでは2027年度までに新たな施設開発へ120億ドル以上の投資を予定している(図表3-5-6、7)。また、技術面では、各新施設はAIワークロードに最適化され、既存施設についても水冷式ラックや液冷冷却装置の導入により刷新が

図表3-5-6 ▶データセンターの建設計画



出所：NTT「データセンターの成長戦略 IR DAY 2023」(2023年10月3日)

図表3-5-7 ▶データセンターの拡張計画



出所：NTT「統合報告書 2024」